

## 令和4年度 第1回瑞浪市文化財審議会 会議録

■日 時：7月21日（木）10時00分から11時30分まで

■場 所：瑞浪市化石博物館（別館：研修室）

■出席者：青木本吉、小栗幸江、小栗 茂、加知久宗、小木曾健夫、三戸憲和、  
柴田明芳、山田和洋

欠席者：可知正己

事務局：水野課長、砂田係長、安藤主査

### ■あいさつ

水野課長あいさつ（内容は省略）。

過半数委員の出席による会議成立の宣言。

可知会長欠席により、職務代理者である柴田委員が進行を行う旨を説明。

### ■報告事項

#### （1）令和3年度文化財関連事業について

代理者：令和3年度文化財関連事業について事務局からの説明を求める。

（資料1を用いて、事務局から令和3年度事業について説明）。

代理者：只今の説明について、意見・質問等があれば発言をお願いする。

委 員：みずなみかたりべの会について、活動内容等の詳細を聞きたい。

事務局：みずなみかたりべの会は会員約30名で、主たる活動内容は自主的な勉強会である「かたりべ養成講座」の開催、スポーツ文化課主催事業である「市民講座」の企画・運営です。

昨年度は新型コロナウイルスの影響により中止となった講座もありますが、積極的な活動を展開されています。また、最近は求めに応じて市内の史跡等の現地案内にも対応されているそうです。

#### （2）令和4年度文化財関連事業について

代理者：令和4年度文化財関連事業について事務局からの説明を求める。

（資料2を用いて、事務局から令和4年度事業について説明）。

代理者：只今の説明について、意見・質問等があれば発言をお願いする。

委 員：基本目標4、施策1、主な取り組み①の保存に係る相談については、市内に残る家系図や古文書などを博物館で預かる、また写真撮影により記録を残す等の措置が必要である。所有者の意向等の課題もあるが、所有者や遺存状況等の確認を積極的に進めてほしい。

委 員：同意する。過去に昭和20年代までの古文書等を調査した経験から、

今後は昭和時代の文書類も調査・収集する必要があると考えている。特に昭和19年から21年頃は戦争の混乱期であったためか行政文書が極めて少ないという状況である。当時の人々の暮らしや出来事などを正確に把握するためには、個人の日記や写真等も調査・収集対象とする必要がある。個人情報保護の問題もあるが、この点にも留意してほしい。

委員：基本目標4、施策1、主な取り組み②の指定に係る相談等について、閲覧を希望する声上がる、盗難の恐れが高まる等の問題が生じることを危惧して文化財指定を希望しない場合もあると聞く。そのような場合の対応はどのようなことが想定されるか。

事務局：文化財であっても必ず閲覧に供さなければならないという事はなく、所有者の都合・意向により断ることは差し支えないと考えます。美術工芸品等の文化財であれば、可能であれば博物館に預けるなどしていただくことで、管理の負担軽減や盗難防止を講じることができます。

委員：基本目標4、施策2、主な取り組み③の学校との連携について、非常に好ましい事業であるのでぜひとも継続すべきである。なお、昨年度もいくつが連携事業を実施したとのことであるが、それらの詳細はどのようなか。

事務局：連携事業の3件は、いずれも化石博物館での展示解説等でした。出前授業は化石博物館で2件、陶磁資料館で4件を実施見込みでしたが、いずれも新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

委員：基本目標4、施策3、主な取り組み①の伝統文化の後継者育成について、新型コロナウイルスの影響により練習のみを実施して、祭礼等が中止になる場合も想定されるが、こういった場合であっても補助対象となるのか。

事務局：事業の目的はあくまでも後継者の育成であり、補助対象となります。実際は祭礼に向けて練習を行うということが想定されますが、むしろ練習・稽古が後継者育成のための主たる取り組みであると考えます。

委員：各保存団体で事情は異なると思うが、現在の補助額では事業費が不足する場合も想定される。必要な団体には補助額を増額することを検討してほしい。

委員：文化財の巡視や調査等の際に身分証の提示を求められるような経験をしたことがある。今後、身分証明書や腕章等の作成・配布を検討してほしい。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご要望については、できるだけ実現できるよう調整・検討を進めたいと思います。

代理者：それでは報告事項についての質問等はこれにて終了する。

## ■その他

現在の文化財審議会委員の任期が令和4年度末までとなっていることから、委員継続の可否の検討、また可能であれば後任者の紹介について依頼した。

釜戸町荻之島で発見されたパレオパラドキシア化石の発見・発掘経緯、および現在の調査・クリーニング作業の進捗状況について口頭で説明した。その後、クリーニング作業中の化石の見学を行った。